千年の森便り No.127

2014.4.24

ちば千年の森をつくる会

http://toyofusajima.digi2.jp/

事務局長　伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月20日(日)　曇

参加は新井（孝）、新井（通）、石毛、伊藤、鵜沢、大原、苅米、久我夫妻、坂本、高橋（洋）、中田夫妻と子供達、根本、福島、松田、真鍋、村野、山口、更にこの日入会の赤松義雄、田島正子さん、体験参加の早稲田大学１年生・吉岡颯さんも加わり総勢 27 名。12 年目の活動開始に先立ち、参加者全員の自己紹介と年次総会。午前中はシイタケ・ヒラタケ本伏せ、シイタケ収穫、禁断の岬探検、野鳥観察、昆虫観察、林内自由散策グループに分かれて活動、昼食後は倒木・危険木処理、ギャップ更新区の片づけ、植物・昆虫観察等行い、成果と発見の多い一日でした。参加の皆さんお疲れ様でした。（真鍋）

千年の森 12 年目の活動開始に 27 名参集

○年次総会

平成 26 年度の総会は、会員 43 名中 21 名が出席、委任状提出３名で行われました。平成 25 年度活動報告と決算、平成 26 年度活動計画と予算については、幾つかの質疑応答の後原案どおり承認されました。また役員改選が行われ、真鍋代表が退任し、久我幹事が新代表に選出されました。

さらに規約改正については、会費滞納に伴う退会がこれまでの２年から１年に短縮され、会費については平成 27 年度分から年 1000 円を年 2000 円（家族は 3000 円）にすることが承認されました。（伊藤）

○シイタケ・ヒラタケの本伏せ

３月に駒打ちし仮伏せしてあったシイタケとヒラタケのホダ木を本伏せしました。シイタケ（にく丸・夏実）は交互に組み合わせて適当な空間を確保する「よろい伏せ」に、湿気がより必要なヒラタケは地面に並べる「地伏せ」にしました。(久我)

夏実も「夏実」と「にく丸」本伏せに参加

○倒木・危険木処理

昨年の台風と今年の雪の被害で豊英島も多くの倒木が見られました。活動日にはある程度処理してきましたが全島まで及びませんでした、今日まで事故も無く来られたのは幸いです。

島内の周回遊歩道に掛かる危険木を重点的に、苅米さんをリーダーに村野、山口、根本が担当しました。まずギャップ林脇の立ち枯れの赤松２本を伐倒してから二手に分かれ、立ち枯れしたコナラ、雪で折れて掛木になった枝や竹の処理、また、ホテイ岬に降りる途中で遊歩道をふさいでいた太い赤松の倒木等々を処理しました。しかし、豊英島の森は樹高が高いため今の時期は枯れ枝（危険木）の判別がなかなか出来ません。山野草やきのこ探しに目線が下向きになりますが、目線を上げて樹木や森全体も観察し、危険木等の有無を見極めながら、常に安全に活動できるよう心掛けましょう。（根本）

台風と大雪の危険木は島に多数

○伐採木の片付け

ギャップ更新区保護柵内に残っていた伐採木のエリアからの搬出作業をしました。見た目より水を含んで重い木は、なかなか動きません。担ぐ、転がす、など、いろいろな方法で大きなもの以外柵外に運び出しました。子供達も手伝い落葉を集めてカブトムシの巣をつくりました。皆さん、お疲れ様でした。運び出したものは、ベンチ、テーブルなどに使い、大きなものについては、皮むきをした後、半割にして今後の利用に備えたいと思います。（大原）

子供達も手伝い片付きました

○植物観察調査

ヒナスミレ（B）（4/1 坂本）

フモトスミレ（C）（4/1 坂本）

ツクシショウジョウバカマ（C）4/1 坂本

エビネ（D）（4/20　福島）

生き残ったヒカゲツツジ（4/20 真鍋）

まず禁断の岬を降りて崖で崩落状態のヒカゲツツジを調査、残念ながら１株は崩落して枯れていますが、幸い１株は崖に縋りついて生き残っていました。根が露出しているが、来年は咲くよう期待します。崖の下のヒメフタバランは花期を終えていましたが、２株花を残していました。森のあちこちにミツバツツジやツクバネウツギが咲き、林床にはエビネが咲き始めていました。 巨木林でギンランようの植物１株見つけましたが、ギンランではない疑いがあるため、坂本さん、福島さんが画像を調べた結果、ギンランの変種（別種とする説もある）「ユウシュンラン」ではないかと思われます。開花後現地で再調査を行い、専門家に同定をお願いする予定です。新井通子さんは２本目のシャシャンボを見つけました（真鍋）

ユウシュンラン？（4/20 赤松）

○野鳥観察記録（鳥類目録の順）

カワウ１、トビ５＋声、コゲラ声、ハシブトガラス声、ハシボソガラス声、ヤマガラ囀り、シジュウカラ囀り、ヒヨドリ声、ウグイス囀り、センダイムシクイ囀り、メジロ囀り、オオルリ囀り、キセキレイ声、セグロセキレイ声　14 種　その他同定不能の声２種、福島さんからミサゴらしき鷹の目撃情報もあり。

日本に渡来して繁殖する夏鳥などを加えて囀りが多くなりました。いち早く生まれた今年の若鳥も鳴き始めているので同定が難しい季節です。

キセキレイ（4/4 センサーカメラ）

エナガの巣を苅米さんが拾ってきてくれたので、手にとってじっくりと観察できました。精巧な作りと巧みなカモフラージュに驚いたことと思います。センサーカメラにはキセキレイが写っていました。

エナガの巣をじっくり観察（4/20）

４月１日、新しい場所に卵３個あるトビの巣を見つけました。20 日にも親は留守で、卵３個ありました。（坂本）

○昆虫観察

寒かったので虫は少なかった。朝、少し陽が差したとき、春のチョウ「ミヤマセセリ」が花に来たところを、福島さんが見逃さずに写真を撮ってくれた。枯れた木に大きなコオロギの幼虫がいた。今の時期に幼虫とは？調べてみるとクチキコオロギという常緑広葉樹林に棲むコオロギだった。コナラ の新芽には 4mm ほどのカシワノミゾウムシ、葉が茂る頃には、葉っぱは穴だらけになるだろう。

ミヤマセセリ（4/20 福島）

クチキコオロギ（4/20 田島）

カシワノミゾウムシ（田島）

(他に観察された昆虫)　ホソスジデオキノコムシ？ミヤマクビボソジョウカイ？エグリゴミムシダマシ、ヘラクヌギカメムシ幼虫、チャバネアオカメムシ、シロアリ、ヤマトゴキブリ幼虫、コクワガタ、オオセンチコガネ(中田君発見) モリチャバネゴキブリ幼虫、（田島）

○きのこ観察　観察出来た野生キノコは２種です。

■ヒトクチタケ　ヒトクチタケは、アカマツ・クロマツの枯死する直後の樹幹に発生し、一口で食べられる栗饅頭の様な形をしています。成長すると固く中空となり、下部に小さな穴を開け、そこから胞子を放出します。近年、千年の森では、マツの衰退（立ち枯れ）が目立つので、よく見かけるキノコとなりました。

ヒトクチタケ（4/20 松田）

ニホンジカはシイタケが大好き

ニホンジカ（4/9　センサーカメラ）

■ニガクリタケ　殆どの柔らかいキノコは、寒さに弱く発生しませんが、ニガクリタケは房総では、寒さを避けた場所で、通年発生します。一見クリタケに似ていますが、噛んでみると強い苦味があり、食べると激しい嘔吐、ケイレンを起し、時に死亡する猛毒キノコです。（松田）

千年の森で子供達も楽しく（中田会員 Face Book から）

君津の千年の森をつくる会の活動に参加しました。新緑の中の森林活動楽しかったです。子供たちはシイタケ狩りしたり、木を切らしてもらったり、落ち葉集めしたりして喜んでいました。ナツミは、雪害で折れた木々の整備の手伝いをしたようです。エビネやミツバツツジ、ツクバネウツギなどの花々も見られました。春の花々の色は爽やかでした。

代表就任の挨拶

代表　久我哲也

この度は、真鍋代表の退任に伴い、後任として皆様のご推挙を頂き、代表を務めることになりました。真鍋前代表は、長年に亘り会の発展にご尽力され厚く感謝の意を表します。今後は、十余年続いているこの会が、更に発展する様微力ではございますが務めて行く所存でございます。皆様のご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

〇総会決定事項

総会決定事項のうち 26 年度活動計画を 5～6 頁に添付します。今年度の定例活動日は６頁に記載がありますので、保存してご活用ください。６月の定例活動日は総会議案書では６月 15 日(日)でしたが、ちば里山センター総会と重なるため、６月 14 日（土）に変更しました。ご注意下さい。

〇臨時活動日のお知らせ

月１日の定例活動日では植物や野生きのこの観察適期、栽培きのこの収穫適期を逃します。このため各班で臨時活動日の予定日を決め、１週間～10 日前にお知らせしますので、希望の方はご参加下さい。またこの他に臨時に入林する場合も、事務局に事前にご連絡下さい。

なお４月の定例活動日の状況から、月内に植物調査の必要を生じましたので（２頁植物調査記事参照)、急遽４月２９日を臨時活動日とし、過日ご案内しました。

〇5 月の定例活動日

5 月 18 日(日)9 時 30 分清和県民の森駐車場集合、一般参加者含む自然観察会、植物・野鳥・昆虫などの観察調査、ギャップ林整備など計画しています。この日開催される里山シンポジュームに一部の会員は参加の必要があるため、自然観察会の実施要領、役割分担など追ってお知らせします。

〇里山シンポジューム

５月 18 日（日）君津市生涯学習センターにおいて第 11 回里山シンポジュームが開催されます。

２６年度活動計画

会設立以来の活動成果を踏まえ、今後の課題を明確にして、規約第３条の目的達成のため以下の通り活動計画を決定し、実行する。

森林整備	１．生物多様性保全を基本に、植生保全、ギャップ更新、危険木処理等の位置づけを明確にして除間伐及びブッシュ状低木の除去を行う。 ２．マダケ林の整備・調査を継続する。（２０１５年まで１０年継続）。	
ヒメコマツ	１．房総のヒメコマツ保全に寄与するため、植栽されたヒメコマツを見守るとともに、ヒメコマツグループの調査などに協力する。	
巨木林調査	下層木調査、成長量調査を継続実施する。 （１）成長量調査（２）下層木調査	
ニホンジカなど動物生態調査と食害対策	１．センサーカメラによる動物生態調査を継続実施する。 ２．ニホンジカ頭数調査を継続実施する。(計４回) ３．植生保護柵の補修又は改修を行う。	６・９・12・３月
植生調査	１．植物調査を継続実施する。調査対象、調査記録方法、標本作成方法など必要に応じて改善する。必要に応じて講師又は協力者を依頼する。 ２．ギャップ更新地の調査については、新たに方針を決定のうえ望む。 ３．希少種保護のため、その位置情報の集約を行う（内部資料）。 ４．希少種については、個別に適切な保護を行う。 ５．植生調査（食害調査）を継続実施する。	
野生キノコ	１．キノコ観察会を実施する。（夏・秋） ２．リスト・標本作製・写真撮影収集に努める。	８月、10月
野鳥観察	１．野鳥調査を継続実施する。 ２．営巣等が認められた場合は継続観察をする。	毎月
昆虫調査	１．昆虫調査を実施する。	適宜
照度調査	１．島内各所、巨木林調査区、ヒメコマツ植栽域の調査を継続する。	年２回
研　修	１．自然観察会（県民の森・島内）を実施する。 ２．必要に応じて適宜ミニ研修を実施する。	５月 随時
キノコ栽培	１．シイタケ・ヒラタケ等の原木栽培の収量概略を記録する。 ２．シイタケホダ場の保護柵設置・補修を適宜行う。	
広報関係	１．ＨＰを適宜更新し、情報発信に努める。 ２．会報誌『千年の森だより（電子版)』を有効活用する。 ３．「豊英島の自然」を、研究・教育関係機関などに適宜追加配布する。 ４．「続・豊英島の自然（仮称)」の準備に着手する。	
環境整備	１．水源地保護のため水辺の清掃を実施する。 ２．物置を点検整備し、不要保管物を整理する。 ３．広場・ベンチ・観察路案内板を整備する。	

月別活動計画

月　日	主な活動	摘　要
４月20日（日）	年次総会、シイタケ本伏せ、自由散策、雪害木処理 植物調査、野鳥調査、ギャップ林整備	
５月18日（日）	県民の森自然観察会(内部講師)　希少種保護柵整備、 植物調査、野鳥調査、ギャップ林整備、マダケ調査	里山シンポジウムと分担対応
６月14日（土）	シカ個体数調査１　環境整備（水辺）、雪害木処理、 植物調査、野鳥調査　ヒメコマツ周辺下刈	
７月21日（祝）	光環境調査（夏）、環境整備（観察路、ベンチ） 植物調査、植生・食害調査、野鳥調査	海の日
８月１７日（日）	キノコ観察会(吹春講師)	公開行事
９月21日（日）	シカ個体数調査２、環境整備（観察路、ベンチ） 植物調査、野鳥調査	
10月26日(日)	キノコ観察会（吹春講師）	公開行事
11月16日(日)	島内自然観察会(内部講師) 植生・食害調査、野鳥調査	
12月14日(日)	シカ個体数調査３　巨木林成長量調査、 野鳥調査	
１月18日（日）	ホダ場保護柵、植生保護柵管理 野鳥調査	
２月15日（日）	光環境調査（冬）、 植物調査、野鳥調査	
３月15日（日）	シカ個体数調査４、ヒメコマツ樹高・径計測 植物調査、野鳥調査	

（備考）定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

＜班編成＞

・調査班：福島・伊藤（照度調査、シカ個体数調査、食害調査、巨木林調査、マダケ林調査）
・植物班：栗山・真鍋・新井（植物調査、種名標示札、写真、観察会）
・動物-野鳥班：坂本文雄（動物・野鳥観察調査、記録、センサーカメラの管理）
・キノコ班：村野・松田（野生キノコの調査、目録・標本作製、写真、観察会）
・栽培キノコ班：久我・高橋（栽培キノコの管理、収穫）
・環境整備班：苅米・根本・鵜沢・大原（広場・看板・物置・観察路・案内板等整備、水辺清掃）
・安全委員長：久我

＜事務局＞

・名簿管理、事業計画、会計、ＭＬ、渉外その他(事務局長)
・会報発行(真鍋)、ホームページ・One-Drive 管理(福島)